

静かに物書きをしていましたけれど、みなさんの喊声が聞こえてきて、わたしも国民みなさんの雄叫びに参加しようと、ともに街を歩こうとやってきました。

なぜウリナラ（わが国）はこんなありさまになってしまったのか。

隣りの中国は立派な指導者が出てきて不正腐敗の遮断に努力しています。

しかしウリナラは、どうしていつまでも指導者たちの墮落が続くのか。

このことをわたしはいま考えています。

中国の場合、人民たちの意識はわたしたちと引き比べるとするならば、とても遅れています。

わたしたちは今日の困難きわまる現実の中で、わが民族は世界でもっとも偉大な民族として成長しつつあると思います。

今この場所に座っているみなさんは、単に政権を退陣させるために集まっているではありません。

わたしたちが求めているのは新たな生き方であり、新たな学問であり、新たな哲学であり、新たな意識であり、新たな文化なのです。

わたしたちは本当の意味で新たな生き方を求めています。

腐りきった思考を持続させようとする邪悪な群れが、わたしたちの見えないところにあまねく存在するのです。

これらを取り除くのは政治家たちによる弾劾によってではありません。

ひとえにわれわれ国民の意識から、国民の運動から、国民のデモ行進から始まるのであり、すべての勢力を政治の場から掃き捨てていかなければならないのです。

わたしは本来学問をする人間なので、めったにこのような集会には出てきません。

今日わたしがこの集会に参加したのは、これはデモではなく、特定の政党や個人を除去したり称賛するためではなく、この場所はわれわれ国民が新たな生き方を探り、新たな憲法を求めていく集会であるということから、この場に私が立たなければ思想家としての存在自体が否定されることになると思ったからであります。

今日この場に出てきてみなさんが心の中で思うすべてのことは、それこそわが民族が新たな歴史を刻む偉大な憲法であり、偉大な哲学なのです。

現在の状況は檀君（ダンゴン）以来の民族史においてこれまでになかった事態です。

かつては独裁を打倒するための集会であったが、今日の示威行動は目覚めた国民の意識から出発する新たな生き方を探るという意味において、新たな制度を求めるこの場所はこれまでとはまったく違います。

今日はあきらかに10万人以上の群集が集まっています。

さらに多くの人々が自由に自らの意思を表出させながら、国民によって朴槿恵（パク・クネ）が膝を折るにいたるまで、われわれ国民は引き続き闘いをやめるわけにはいきません。

いかなる甘言異説が流布されても、みなさんは決して騙されてはなりません。

檀君以来これまでにない新たな歴史をみなさんが創り、刻んでいかなければならないのです。

これこそ希望の出発であり、久遠の歴史です。

わたしたちは1945年に解放されたものではありません。

ありとあらゆる圧制のくびきから真に解放されるその日を迎えるために、足を踏み出していこうではありませんか！

一週間後の土曜日、もう一度わたしはこの場でみなさんとともに行進します。

「朴槿恵退陣」は政治的解決で成り立つものではありません。

唯一みなさんの覚醒した意識によって、われわれを抑えてきたすべての権力を取り除くべく、国民の意思が確固として表出されてこそ、新しい歴史が創造されていくのです。

われわれは革命を起こさなければなりません！

わたしたちは生き方の革命、制度の変革、意識の変革、すべての圧制から解放されなければなりません。

今日の出会いはたんにみなさんとわたしの出会いではなく、わが民族の歴史を構成するすべての先人たち、檀君以来われわれを育ててきた歴史の根本がこの場で出会い、真正なる革命の歴史を刻みはじめています。

わたしは一週間後にふたたびこの場所に立ちます。

それまでみなさんはどうか体に気をつけ、風邪を引かないようにしながら、すべての方々が力強いエネルギーを蓄積しつつ、わたしと一緒にふたたび街頭を行進しましょう！

翻訳：大門孝司